卓　　話

平成 14 年9月 10 日

県立岐阜女子商業高等学校　校長　　大杉二郎様

☆最近の高校教育より☆

最近の高校について、色々な面からお話ししたいと思います。初めに、今年度から岐阜県の高校入試では特色化選抜という形を取り入れ、子供の得意分野、部活、ボランティアなどの経験等で合否を決め、一般選抜の入試と並んでダブル受験が可能となりました。本校では部活に力を入れていますので、そんな生徒達をすすんで受け入れていきたいと思っています。高校生の就職については、今年岐阜県で68％という低い数字が出ていますが、高校自体のブランド化現象が表れており、それが就職率の差となっているのが現状です。

また、高校の統合については少子化と高校教育の多様性という観点からもさけられない事だと考えます。ただし、女子校という特殊な世界が変わってしまうのは新たな問題を生み出す要因も含んでいますので慎重に対応していきたいと思います。

最後に、本校では今後情報科、福祉科により力を入れ、大学や社会に即応できる生徒達を育てていきたいと考えております。さらに、本校を代表する部活ホッケーもみなさんのご支援の元、ますます頑張ってくれるよう見守っていきたいと思います。

今日はありがとうございました。